

スズキ、小型乗用車「イグニス」が 2016年度JNCAP予防安全性能アセスメントにおいて 最高ランクの「ASV++(ダブルプラス)」を獲得



イグニス



ASV++

スズキ株式会社は、ステレオカメラ方式の衝突被害軽減ブレーキ「デュアルカメラブレーキサポート」※¹及び「全方位モニター」※²を搭載した小型乗用車「イグニス」が、2016年度JNCAP※³予防安全性能アセスメントにおいて71点中66.3点を獲得し、最高ランクの評価である「ASV※⁴++(ダブルプラス)」をスズキ車で初めて獲得したことを発表した。

JNCAP予防安全性能アセスメントは、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA※⁵)が自動車の先進安全技術について評価し、結果を公表する制度である。2016年度の評価対象は、昨年までの「前方車両に対する衝突被害軽減制動制御装置(AEBS※⁶)」、「車線逸脱警報装置(LDWS※⁷)」、「後方視界情報提供装置(バックビューモニター)」の試験に加えて、「歩行者に対する衝突被害軽減制動制御装置(AEBS)」を追加した4項目で71点満点の評価点が与えられる。評価点の合計が12点を超える場合は「ASV+」として認定され、さらに46点を超えると「ASV++」に認定される。

「イグニス」は2016年2月に発売した「使い勝手の良いスタイリッシュなコンパクトクロスオーバー」がコンセプトの小型乗用車である。「デュアルカメラブレーキサポート」を含む「セーフティパッケージ装着車」を選択されるお客様は2016年10月末時点で約6割に上っている。

スズキは今後も安全技術の取り組みを強化し、積極的にクルマの安全性を向上させていく。

試験結果詳細(NASVAホームページ)

http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/

- ※¹ デュアルカメラブレーキサポートはセーフティパッケージとしてメーカーオプション設定。
- ※² 全方位モニターはメモリーナビゲーションとセットでメーカーオプション設定。
- ※³ JNCAP: Japan New Car Assessment Program
- ※⁴ ASV : Advanced Safety Vehicle
- ※⁵ NASVA: National Agency for Automotive Safety and Victim's Aid
- ※⁶ AEBS : Autonomous Emergency Braking System
- ※⁷ LDWS : Lane Departure Warning System